

- ・今夏は特別支援教育や発達障害に関わる講座を多く受講しましたが、夏の私の研修を締めくくる実のある研修会に参加でき、私は幸せでした。

とかく特性から入っていた私ですが、目の前にいる子どもたちの実態を大切にしたり、行動改善に向ける内容は有意義でした。

特別支援学級がなく、様々な課題を抱えた生徒を一斉指導の中で、学習しています。ユニバーサルデザインタイプの授業は概念では理解でいるのですが、現実難しいです。奥底にある排除概念、ヨーロッパのような受容社会が実現しないと、特別支援教育は個人的には無意味さも感じています。

- ・個別指導をされているような子どもを担当したり、知人に頼まれて現在関わったりしています。長い教師生活の中で、その子にあったやり方で（保護者に協力をお願いしながら）関わってやれば、どんな子でもあるときぐつとのびる事があるんだ。あきらめたり、決めつけたりさえしなければ、できるようになるんだと言う事を、改めて教えられています。

昨年先生のお話を聞き、アスペルガーの子どもに対してやっている事は、間違っていないんだと言う事を教えて頂き、担任と共に頑張りました。その結果、泣いてパニックを起こしていた子どもが、50mクロールを大会で泳ぎ切ったり、一輪車が乗れるようになったり、逆立ちができるようになったり、卒業式一週間前に逆上がりができるようになったりしました。そして卒業の日、担任・保護者と共に喜びの涙を流す事ができました。本当にありがとうございました。また、今日のお話を聞き、今関わっている子どもにも“どんな花でも、遅く咲いても花は花”のこたばを胸に頑張りたいと思います。

- ・先生のいつかできると信じての具体的な取り組みに感心しました。

先生流の取り組みに納得する物が多かった。今まで何度も講演会で話を聞きましたが、同じような流れの繰り返しでしたので、今回は新鮮さを感じました。

- ・支援の必要なお子さんのご家族が「支援学級ではなく、通常学級で学ばせたい」という声を良く聞きます。

今までの私は、正直、親の無理解からでることばだと思える事が度々ありました。けれども、健太君や花子ちゃんの話や、私が支援させていただいているお子さんから集団の中だからこそ見える姿があります。

私が学校で一緒に勉強している子どもたちは、とてもかわいいです。

私の方が元気をもらっています。癒してもらっています。

少しずつですが、色々なできる事が増えています。

大変だと思う事もありますが、楽しんで一緒に勉強していきたいです。

ありがとうございました。

- ・配慮しすぎる事はかえって甘やかしている事になる。

甘やかさないことが、方向性の明確さにつながり、子どもを変えることが考えさせられる部分で、今までの指導を反省させられました。

- ・たくさんのおともたちのお話が聞けてよかったです。
いろんな障害を持った子供たちがいますが、みんな誰かの役に立ち、喜んでもらえる、とてもすばらしい笑顔を見せてくれますね。
先生のお話を聞いて改めて思い出させていただきました。
障害のあるなしにかかわらず、すべてのおともたちが「誰かのために！」と思っているのですよね。普通学級のおともたちにも共通し、活用できるお話でした。
- ・健太君や女子の座席の話、本当にすてきなおともたちだと思いました。
できれば、彼や彼女とその周りの大人や子どものすてきになっていく課程を、具体的に詳しく聞かせていただけたら・・・と思います。
役に立っている感を大切に、やる気を込めて頑張ります。ありがとうございました。
- ・先生の実践、本当にすばらしく、私たちが考え行わなければならないことがたくさん見えてきました。反面、公立学校としての限界（たとえば担任が1～2年で変わるとか、何か一つするにしても、教育委員会への相談やお金の問題、子どもがおかれている家庭の様子など）も感じています。
私の場合、特別支援と言うより、生徒指導上の問題・課題を抱えているので、特にこのように感じているのかもしれない。
- ・発達障害の診断や医師の報告（未来へつなげる意味では大切です）は、実体やその子の個性を知る上で無視できないと思います。しかし、それがレッテルを貼る、決めつけるやり方ではダメだと思います。
子どもの事実、教室の事実が何よりも重要だと思います。
教師が最後まであきらめない、そしてその子の将来を見すえた指導が大切だと思います。
やる気、根気、のん気で頑張っていきたいと思いました。
- ・個に対するときの考え方など、とても参考になりました。ただ、我々は集団に対しての教育が多く、その中でいかに個に対してどこまでできるのか、また、どこまですべきなのか迷っています。特別な支援には教師の人数や、特別支援学級のことなど限界があります。その点において、いかにすべきか参考となる部分もありましたが、いま一番学校で悩んでいる所です。
- ・市外から参加させていただきました。
具体的な実践事例の中で、教育とは何か、教師の役割など、改めて考えるきっかけになりました。
忙しい中にも充実感を持って、働かれている姿に感動しました。
- ・小学生だからと思って接しているところがありますが、この子が世の中（社会）にでて、

誰かのためになれる子どもに育てる、大きな目と小さな目、長い目で必要なことを家族と相談しながら育てていきたいと思います。

今日はありがとうございました。

- ・「誰でも人に役立つ存在であること」は、本当に心を打つことでありました。また実践に活かしたいと思います。ありがとうございました。
- ・相談員でありながら、あちこちの子どもさんを個別指導までされるなんてすばらしいと思いました。それぞれの子どもの未来を信じて、特性に応じた指導をされていて少しでも見習わなければと思います。これからもご活躍下さい。ありがとうございました。
- ・実践に基づいた講演でとてもわかりやすく聞かせていただきました。ありがとうございました。
- ・どんな子どもでも一人一人には良さがあり、輝くものがある。世の中の役に立つ子に育てることが、その子の幸せにつながるということが、とても心の中に響きました。とてもすばらしいお話をありがとうございました。
- ・「どの子にも輝くものが必ずある」本当にその事を、子ども一人一人を見つけていきたいと思います。今日はありがとうございました。
- ・ありがとうございました。機会があれば是非また講義をお聞きし、自分自身をも見つめ直したいと思いました。
- ・子どもには、自信を持たせて育てていくことの大切さをとても感じました。今まで注意ばかりすることが多かったので、褒めてのばしていく育て方を明日より実践していきたいと思っています。
- ・今日はとてもよい講演ありがとうございました。障害のある子どもと一緒にだと、心もとても育つと実感していたし、今日の話聞いてとても感動しました。今後ともよろしくお願いします。
- ・今日はありがとうございました。誰かのために何かのできる子に育てる！！ことを頭に置いて、日々努力していきたいと思います。

- ・本日はありがとうございました。

具体的な実践例を上げてくださり、また、エピソードを交えての話で、わかりやすかったです。

お話を聞く中で、人としての生き方、交わりを勉強できました。これからの保育の中に生かしていきたいと思いました。
- ・今日はありがとうございました。

実践を通してのお話で、現在の取り組みに生かしていきたいと思います。

個々、様々な子どもたちがたくさんいます。それぞれに合ったご指導を今後ともよろしくお願いいたします。
- ・貴重なお話をありがとうございました。

子どもへの寄り添い方、関わり方など、新しい視点で考えることができました。

園の方針（やり方）、自分の保育などもっと自信を持っていきたいと思います。

（不安や迷いの思いは子どもにも伝わりますもんね・・・）

優しく見守りつつ、皆で一緒に楽しいクラス!!を目指していきたいです。

ありがとうございました。
- ・子どもの指導の実際を、具体的な事例をもとに丁寧に話してくださり、大変参考になりました。

一番印象に残ったのは、「畑を耕し、種をまく」営みが花を咲かせる、という具体的なお話でした。

教育の場では、教えたことがすぐに結果としてでることは少なく、一定の多くの学びを通して、ある時急にできるようになったり理解が進むことが多いものです。障害のある子への指導だけでなく、すべての子どもの発達に通じるものだと思います。

今日はありがとうございました。
- ・大変細やかな実践事例のお話、とてもわかりやすく心に染みわたりました。

特に“わたしたちができない事でもできる事はいっぱいある”というお話が心に残りました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。

“誰かのために何かのできる子”その通りだと思いました。そのためにわたしたちが彼らに何をしてあげれるか？と思い今後の指導につなげていきたいです。
- ・感動しました。

いつも励まし支えていただいています。

ありがとうございました。
- ・本日はありがとうございました。

保育園に勤務し、日々、支援が必要な子どもと接し、いろいろ悩みながら保育していますが、今日の先生の講演を頭に入れて、今まで違った思いで新たに保育していきたいと思えます。

世の中の何か役に立つ子になるんだと言うことを知らせていく。

意味なくして産まれてきた子はいない、印象的なことばでした。

- ・各園を巡回して細やかな指導をしてくださり、目が覚めた思いをしたことがありました。日々の雑務に追われて、浮き足だったような保育しかしていませんので、いい刺激となりました。

先生は決して人を悪く言われませんが、今度来られた（巡回）時は、遠慮なくここがおかしい、ここを直したら・・・と指導して下さっても構いません。よろしく願います。

他の先生（巡回）からはボロボロに言われていますので、ただただ悩むばかりです。

でも少しずつ頑張っています。

- ・今日は本当にありがとうございました。

先生には一度だけお話を聞ける機会があり“子どもには大人には見えないその人のオーラが見えます”とおっしゃったこと、とても印象に残っております。

それは、子どもはその人を見抜くということだと思えました。

日々、変わらぬ愛情を込めた関わりを一人一人の子どもたちにしていきたいと思っております。

- ・子どもたちに対する支援のあり方や方向について、日々悩みながら教育支援員として、子どもたちの気持ちに少しでも向き合っ、共に教育させていただいています。

本日は、よいお話を聞かせていただきありがとうございました。

- ・本日はありがとうございました。

保育園に勤務しており、特別支援を担当しております。先生の話を経後の保育に生かしていこうと思えます。

- ・今日はよいご講演ありがとうございました。特別支援に限らず、一人一人の持っている可能性を引き出していくことを、しっかり日常の保育の中で実践していきたいと思えました。

- ・最後のお話の中で「誰かのために何かできる子」という先生の教育の神髄を感じる ことができました。

私たち教員は、自分のために頑張るのみならず、誰かのために頑張れる子を育てなくてはならない、その子自信の輝きを見つけだしてやらなくてはならないと改めて気づかせていただきました。

ありがとうございました。

- ・今日はありがとうございました。

限りない可能性を持った子どもと、どの様に関わっていけばいいのか、日々悩んだり、失敗したり。

でも、その中でも驚き、喜びもあり、本当にマニュアル通りには行かない現場ですが、やりがいがあり、またとても責任のある仕事と思っています。

今は「子どもさん、少しみんなと違うので、特別な先生に見てもらってください」とすぐに言う先生もいて、保護者の方が傷ついているのを身近で見ました。
- ・私は、保育士として働きだしてまだ日が浅く、とても興味深く聞かせていただきました。実は、私の娘（3才8ヶ月）も発達障害で、保育士としてでもありますが、保護者として聞いていた部分もありました。

エピソードの話を聞いて、涙がこぼれそうでした。

今年度から保育園へ入園し、療育にも通って、偶然ですが個別指導と集団生活を始めたところ、保育園に入園してから、ぐんと言葉数も増え、出来ることも増えました。
- ・今日はありがとうございました。

改めて子どもの可能性について気付かされました。

子どもは本当に色々なところから毎日吸収して、たくさんのことを学んでいるのだと思いました。

これから子どもと関わる中で、もっと一人一人の子どものよさに気づけるよう、関わってきたいと思います。
- ・今日は講演ありがとうございました。

今年度に入り、巡回指導に来ていただき、相談をさせていただき、それまで抱えていた心の不安・思いをうち明け、お言葉をいただいたことで肩の荷がすっと降りました。

これからも私たち保育士が現場で抱える問題を助けていただけたらと思います。

今日は本当にありがとうございました。
- ・たくさんのエピソードと実践事例を聞くことが出来て良かったです。勉強になりました。

これからもたくさん勉強していきたいと改めて思うことが出来ました。

新人で、まだまだ力不足なところもたくさんありますが、日々学習し、自分のもの出来るように努力していきたいと思います。
- ・もう少しで夏休みも終わり、二学期が始まるとすぐ運動会の練習が始まるという中、さてどうしていこうかと頭を抱えています。

やっぱり集団の大切さを改めて感じ、通常学級の担任の先生との関係、私たち自身見直さなければと思いました。
- ・ありがとうございました。

すてきなクラス作り、頑張ります。

- ・特別支援教育についての知識が曖昧で、毎日不安に感じることもありましたが、英語や単語の意味は、普段の生活の中で本や参考書を見ることで勉強できますが、実践の経験については不十分でしたが今日聞いて参考になりました。
- ・昨年9月から、特別教育支援員として働いています。
初めてのことであり、子どもに情がうつり「かわいいなあ」と思っています。一人の子どもに一年間が普通の関わりですが、長く関わることの大切さ、また、マイナス面があると思います。
日々、考え、ひらめき、ため息をつきつつ子どもたちと共に学んでいます。
- ・特別支援教育支援員の一人です。長年教育に携わっていらっしゃる方ならではの宝石のようなご意見、キラキラ光っておりました。
ただ、教育と支援の違い、教員の方への対応、トップダウンの意識と、私が直面しております問題は「生徒への支援」もちろんですが「教員の支援」という名目に苦しんでいます。
- ・学校にしかできないこと、療育の良さを取り入れながら生かしていくこと、という言葉は、現場の私たちをととても安心させてくださる言葉でした。療育と学校の役割はそれぞれですね。
 - ①甘やかさない、方向性の明確さ
 - ②継次処理の特性
 - ③二系統同時刺激
 - ④バイパス行動
 の事例、運動会に取り組む話など、とても役に立ちました。具体的な実践例が聞けて良かったです。ありがとうございました。
“だれかのために何かできる自分”を目指す、障害があるなしに関係ないですね。それこそ教育の目的だと思います。
- ・初めてお話を聞かせていただきました。
教員を始めてかなりの年数がたちますが、初心に戻ることが出来たような気がします。二学期からまた頑張るぞと言う気持ちがありました。ありがとうございました。
- ・昨年巡回相談でお世話になりました。
今回先生のお名前を見て、是非お話を聞きたいと思い参加させていただきました。
期待通りのお話で、元気が出ました。
支援の必要な子どもへの対応への悩みが解消されました。厳しく接した方がと思う中、もう少しやさしく・・・と言われることも多かったので・・・
ブレない、公平な、厳しさなど、目指したいところでしたので、これからの姿勢にしていきます。

・お話の最後に先生は、色々な園や学校でのエピソードを聞かせてくださいました。先生が、私たちのことを認めてくれる、とても心が晴れる、心から嬉しく思い明日への活力がうまれる、それが私たちが生徒を認めてやった時、生徒が感じることに、これなんだな、まさにこれが大事なんだなと強く思いました。

まだこの仕事について一年と半年の未熟者ですが、明日からまた頑張りたい、そう思います。貴重なお話を本当にありがとうございました。

・集団の時と個別の時の違いが解りました。

個別の時は一対一になるので解らないことを詳しく教えてあげれるが、集団の時はみんなまでしてみると、それの方が覚えれると言うことが解り今後に生かしていきたいです。私も特別支援をしているんですけど、いけないことをした時にしかるんですけど、なかなかやめず、次の行動に移せないときに、しかったときに泣いてしまいます。泣いてやめちゃうんですけど、泣くのをみると罪悪感というかかわいそうというか、これでいいのかという時があります。

また講演会よろしくお願ひします。

・私は保育園で3歳児の加配をしています。初めての加配と言うこともあり、とまどいや不安で、どの様に子どもに接していったらよいか解らないこともたくさんありました。今回、この講演に参加させていただき、子どもとの向き合い方、指導の仕方を知ることが出来ました。

そして何より、子どもの特性を理解し、伸ばしていくこと、子どもに愛情を持ってしっかりと向き合うことが大切なんだなと感じました。

石原先生のお話もとてもわかりやすく、とても勉強になりました。またこういった機会があれば参加させていただきたいです。

ありがとうございました。

・今回は本当にありがとうございました。

昨年の巡回相談でお会いしてから、何度かお話を聞かせていただいております。毎回の様に得るものがあるのがあって嬉しく思っています。

今回は「行動改善に向けた理論とバイパス行動」のところが注目でした。

もっとそこどころが聞きたかった感もありますが、二学期にいかしていけたら・・・と思っています。

ありがとうございました。

・健太君のエピソード感動しました。(涙が・・・)

子どもって、私たちが思っている以上に成長しているというか、可能性を秘めていると実感しました。それを引き出してやらないとダメですね。

交流学級でやった九の段がスラスラ言えるという事例、びっくり。

交流学級での育ちを期待して、取り組みたいです。

- ・ありがとうございました。先生の実践はとてもわかりやすく、これからの保育にいかしていきたいと思います。
個の特性理解のところで、個人を理解することの難しさと大切さをより学んだように思います。